

2026年2月9日

三井住友信託銀行  
年金業務推進部

## INDEX

第2回「企業年金の加入者のための運用等の見える化等に関する懇談会」について

第2回「企業年金の加入者のための運用等の見える化等に関する懇談会」の概要について



## POINT

- ✓ 2026年1月29日、「第2回企業年金の加入者のための運用等の見える化等に関する懇談会」が開催されました。
- ✓ 議題として、①企業型DCの適切な商品選択のための投資教育事例について、②DBにおけるインフレ抵抗力の確保に係る取組事例について、の2点を取り上げられ、各議題について構成員が意見を述べました。
- ✓ 最後に事務局より、本懇談会は今回が最後で、「見える化」の具体的な開示項目については、年度内に厚労省から発表するとの方針が示されました。

- 2026年1月29日、「第2回企業年金の加入者のための運用等の見える化等に関する懇談会」が開催されました。
- 当日の資料や構成員名簿等の詳細については、「[第2回企業年金の加入者のための運用等の見える化等に関する懇談会 資料\(厚労省HP\)](#)」をご確認ください。
- 本ニュースでは、懇談会の内容のうち、②の「DBにおけるインフレ抵抗力の確保に係る取組事例」に関する部分を中心にご説明します。

## 事務局(厚生労働省)の説明内容および構成員の発言

### ① 企業型DCの適切な商品選択のための投資教育事例について

議題について、本間構成員・大江構成員から提出資料に関する説明が行われました。

#### 【本間構成員からの主な説明内容】

- ・NECグループの紹介
- ・NECグループのDC年金について
- ・従業員がDC年金を主体的に活用するために(取組の実例)
  - ①NECグループ年金委員会
  - ②DC商品入れ換え
  - ③DC年金教育と従業員コミュニケーション

#### 【大江構成員からの主な説明内容】

- ・継続教育の実施状況、従業員規模別の実施状況、継続的に情報提供している方法
- ・実施して効果があったとされる継続教育
- ・効果があったとされる継続教育事例から見えてきたこと
- ・継続教育の課題と今後の方向性、加入者本位の継続教育のために必要なこと
- ・取り組みの「見える化」による好循環
- ・DCエクセレントカンパニー2026 受賞企業のノウハウ/継続教育部門 認定 チェックシート

### ② 確定給付企業年金(DB)におけるインフレ抵抗力の確保

議題について、事務局(厚生労働省)から、[DBにおけるインフレ抵抗力の確保の例として、複数の制度設計を示した資料](#)に関する説明が行われました。

#### 【事務局からの主な説明内容】

- ・DB制度のインフレ抵抗力の確保に係る事例整理の趣旨
- ・①労使間の合意に基づく給付改善事例
  - 【①-1】DBの給付用に算定基礎(基準給与等)を設定している場合の算定基礎の見直し
  - 【①-2】給付乗率等の見直し
  - 【①-3】その他人事制度の見直し等を背景とした給付設計の見直し
- ・②給付の額が経済動向等に連動する制度
  - 【②-1】標準報酬等の実際に支払った賃金を給付の基礎とするもの
  - 【②-2】「国債利回り」を給付設計の指標とするもの
  - 【②-3】「消費者物価指数」を給付設計の指標とするもの
  - 【②-4】「運用利回りの実績」を給付設計の指標とするもの
  - 【②-5】リスク分担型企業年金

#### 【構成員の主な発言】

- ・企業年金は実施企業において労使合意に基づいて給付水準や設計を決定する制度であるため、それらの検討・協議のプロセスにおいては当該資料の整理が参考になると思う
- ・当該資料は労使双方に情報が届くように検討いただきたく、HPでの公表に加え、事業主側であれば日本経済団体連合会や全国商工会連合、組合側であれば日本労働組合総連合会等に向けて発信することも期待する

## 事務局(厚労省)の説明内容および構成員の発言(続き)

### 全体を通して

#### 【構成員の主な発言】

- DCについてはRKのシステム上の制約もあり、開示可能な項目が限られているのはやむを得ないが、今後も必要なものは付け加える対応をお願いしたい
- 実態把握を目的とする地方厚生局からの5年に1度の事業主向けヒアリングはひと段落した認識。一旦、見える化を見据えて、質問項目の見直しの要否を検討すべきでないか
- 企業の退職給付制度は複数の年金制度・退職一時金を併用するケースが多く、各企業の人事戦略を反映した状況となっている。横並びでの比較で適切な評価が得られるかは疑問であり、ガイドラインの掲載、任意の補足説明欄の設置などを強く求める。配慮をお願いしたい
- 見える化で開示の対象となった企業年金への周知も、これまで以上に丁寧に行うべき

#### 【事務局の発言】

- 本懇談会は今回が最後となる予定。これまでいただいた意見を踏まえ、厚生労働省で更に検討を深め、対応する
- DBのインフレ対応事例については、厚生労働省HP等で公表を行うことに加え、関係者への周知も取り組むべきとの意見もいただいたため、是非対応していきたい
- 見える化については、年度内に厚生労働省にて詳細な開示項目を決定し、来年度からシステム開発を行うスケジュールで変更なく進める。厚生労働省のHPにスケジュール含めて掲載し、周知する。また、今回や前回いただいた意見を踏まえ、開示項目に説明や注釈を丁寧に付す、自由記述のコメント欄を設けるなどの点にも留意して進める

#### (ご参考)

- [第2回「企業年金の加入者のための運用等の見える化等に関する懇談会」の開催について](#)
- [資料\(再掲\)](#)

#### <本件のご照会先>

ご照会事項がございましたら弊社営業担当者までご連絡ください。



年金ニュース  
バックナンバー  
(↑クリックで表示)

ペンションジャーナル等  
(↑クリックで表示)

三井住友信託銀行  
公式HP  
(↑クリックで表示)